



特別支援教育について

大里南小学校 特別支援教育校内委員会

特別支援教育とは

- 特別支援教育とは、一人一人の教育的ニーズに合わせた支援を行っていくことです。学び方は一人一人ちがいます。全ての児童が自分らしく学べるよう、保護者と話し合いを重ねながら、適切な支援を検討していきます。

特別支援教育の対象となる児童とは？

- 特別支援学級に在籍する児童
- 通級指導教室に通う児童
- その他、通常の学級に在籍し特別な支援を必要とする児童

具体的な支援がスタートするまでの流れ



- ① 保護者や本人の訴え・担任の気づき
↓ _____ (学習や生活の様子をつかむ)
- ② 保護者面談 (6月中旬)
↓ _____ (校内委員会で話し合い)
- ③ 南城市教育委員会へ申請 (7月中旬)
↓ _____ (10月中旬専門家によって、審議)
- ④ 県教育委員会へ申請 (12月)
↓
- ⑤ 決定 (12月下旬～1月) (次年度からの支援内容が決まります。)

※ 安全面などで配慮が必要な児童には、南城市教育委員会へ「特別支援教育支援員」を要請することもできます。

本校では

- 特別支援教育コーディネーターを窓口として学校長を代表とする「校内委員会」で一人一人の児童に適切な支援を検討しています。
- 保護者との教育相談を通して家庭と学校の連携をサポートしています。
- 対象となる児童だけでなく、全児童に対して特別支援に関する教育を行います。
- 医療や福祉、教育センターなどの専門機関の紹介を行っています。

気になることがあれば、特別支援教育コーディネーターや担任に相談してください